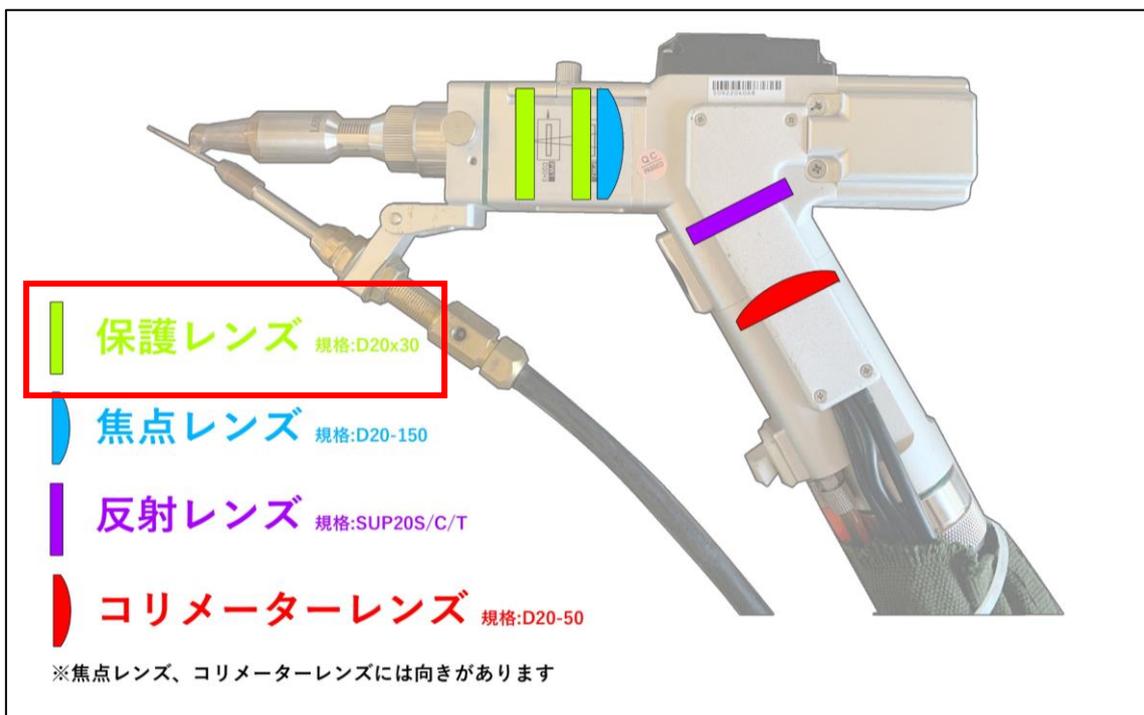


保護レンズの清掃・交換

保護レンズはレーザーガンの内部にあり、溶接時に発生する煙や飛散した粒子から焦点レンズを保護します。保護レンズが汚れたり劣化すると、パワーが低下し、適切な加工ができなくなりますので、加工内容・頻度に合わせて清掃・交換が必要になります。長時間加工をしていると最初に汚れや破損が発生しやすいレンズになります。

【レーザーガン内部のレンズ類】



保護レンズは保護レンズケース内にと焦点レンズケース内に装着されています(合計2枚)

【保護レンズケース内のレンズ脱着方法】

保護レンズの脱着は、レーザーガンの上部から行います。



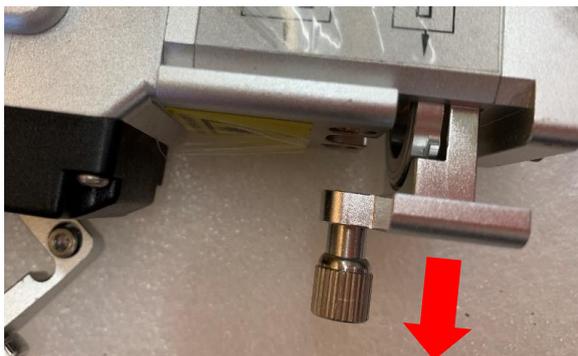
つまみを反時計方向に回します。保護レンズの取り付けプレートを引き抜きます。



ある程度回すとつまみが手前に上がります。



ケースを引き抜いてください。



レーザーガンの開口部にテープを貼り、目張りします。
保護レンズを取り出した際に開口部から塵や異物が混入すると故障の原因となりますので、素早く閉じてください。



取り出した保護レンズを清掃します。
保護レンズを照明などに透かして確認します。保護レンズ自体は完全な透明で、微かにでも曇っていたり、シミが点在している場合は清掃が必要です。

保護レンズを取り出した状態でそのままクロスなどで拭き取るのは厳禁です。表面に付着した微粒子などによってレンズ表面が傷つき、レンズ性能が劣化します。

以下の手順で、レンズ単体での清掃を行います。

まず、レンズが固定されていますので固定リングを外します。左右どちらかの方向へレンズを回すとロックされていた金属部分が見え、固定リングを取り外せます。



保護レンズを水道水で洗い流すか、アルコールやレンズクリーナーを十分に塗布し、表面に付着した塵などを洗い流した後、クロスやティッシュペーパーで軽く拭ってください。清掃後、照明などに透かしてみて、透明であることを確認してください。

シンナーなどの溶剤は決して使用しないでください。コーティングが剥がれる可能性があります！



左の図の様に焦げや汚れが固着して取れない場合や、曇りや汚れがとれない場合、傷などの損傷がある場合は、保護レンズの交換が必要です。

手順を逆に行い、レーザーガンに保護レンズを戻します。

- ・ 保護レンズ自体には裏表がありません。
- ・ レーザーガンに差し込むときは、しっかりと奥まで差し込んでください。

【焦点ケース内の保護レンズ脱着方法】

工具を用意し、焦点レンズを切り替えます。

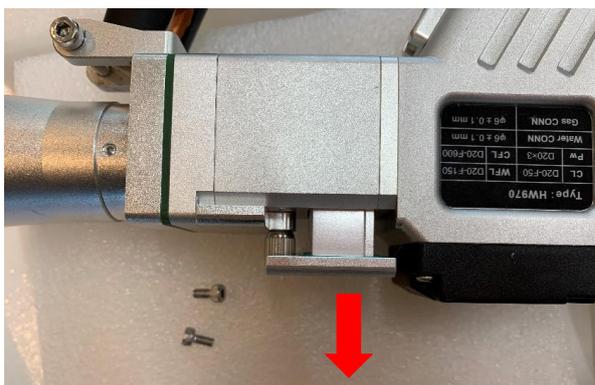


取り換えには六角レンチ 2.5 を使用します。

焦点レンズはワイヤレスコントローラの上に取り付けてあります。
六角レンチを使い、ネジ(2本)を緩めます。

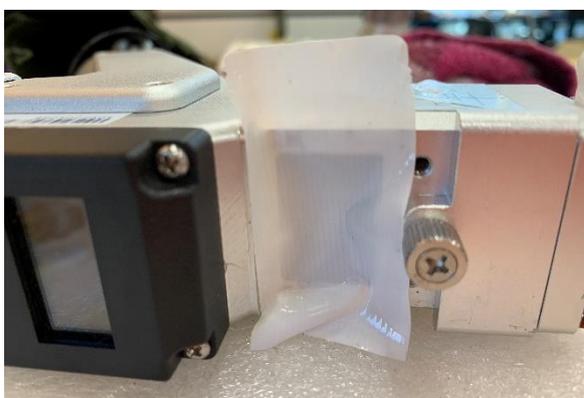


ネジを外したら、レンズが入っているケースを引き出します。



レーザーガンの開口部にテープを貼り、目張りします。

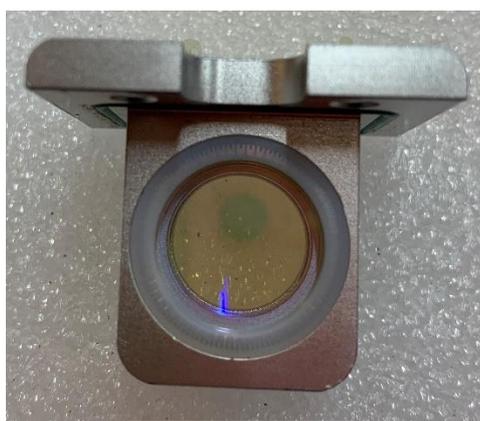
レンズを取り出した際に開口部から塵や異物が混入すると故障の原因となりますので、素早く閉じてください。



レンズケースには焦点レンズと保護レンズが取り付けられています。

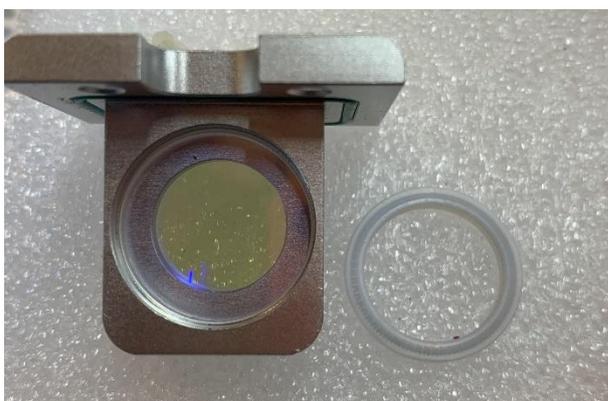
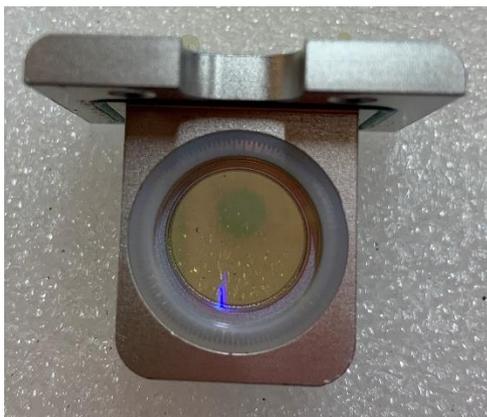


焦点レンズ側



保護レンズ側

保護レンズを取り外す場合は白色のパッキンを精密ドライバー等で引っ掛けて外します。



保護レンズを水道水で洗い流すか、アルコールやレンズクリーナーを十分に塗布し、表面に付着した塵などを洗い流した後、クロスやティッシュペーパーで軽く拭ってください。清掃後、照明などに透かしてみて、透明であることを確認してください。

シンナーなどの溶剤は決して使用しないでください。コーティングが剥がれる可能性があります！

手順を逆に行い、レーザーガンに保護レンズを戻します。

- ・ 保護レンズ自体には裏表がありません。
- ・ レーザーガンに差し込むときは、しっかりと奥まで差し込んでください。